



News Letter Vol.9

2016. 6. 10 第9号

発行：東京都杉並区高井戸東 3-3-15-308 「スマイリングホスピタルジャパン事務局」

Tel/Fax: 03-4296-5691 E-mail: info@smilinghpj.org HP: <http://www.smilinghpj.org>

"Happiness Helps Healing"

ごあいさつ

- ・2016年3月～2016年5月の活動報告
- ・2016年3月～2016年5月トピックス
- ・第1回SHJ研修&交流会のご報告
- ・アースデイ2016のご報告
- ・ぷくぷくぼるーん
大竹由美子さんからのメッセージ
- ・書籍紹介
- ・団体概要アップデート 後記



ごあいさつ

「障害者差別解消法」が4月に施行されました。「違い」を認め合うことの困難さが人々の心に潜在的にあり、その上で社会が作られてきたために、「合理的配慮」が行政や事業に求められるということなのでしょう。

健全者と呼ばれる人たちは“たまたま”“無意識に”不自由なく生活しています。私たちは障がいや、さらに災害に苦しむ方々に身を置き換え、問題意識を持って行動を起こすことで、より良い社会を作っていけるのだと思います。

そして、障がい者、困難の中にいる人たちの意見を広く聞けるような社会、当事者が発信できるような社会になることを強く望みます。

さて、在宅訪問事業部が誕生して数ヶ月が経ちましたが、聞き取り調査やニーズの把握すらままならない状況です。しかし、合理的配慮が行き届くのを待つのではなく、スマイリングホスピタルジャパンにできることと、求められる活動のかたちをすり合わせ、十分に練り上げて在宅を余儀なくされる子どもたちへの訪問を丁寧に進めていきたいと考えています。

4月に入ってから、重症心身障がい児や筋ジストロフィーなどの親子の交流会での活動が活発になっています。病や障がいと闘いながら頑張る子どもたちのところで、今日もスマイリングホスピタルジャパンアーティストたちは頑張っています。

3月には初めて全国のスタッフが一堂に会した研修&交流会がありました。報告をお読みください。今回は病棟の保



森英記のサクセス&米元美彦の打楽器@東大病院

育士による病児の発達についてと病弱教育の専門家による講義がありました。来年は障がい科学の分野を含めて学習をしていきたいと思っています。

また、全国小児病棟ボランティアネットワーク交流会に参加したことで、さらに新しい地域の団体や病院等と連携をとることができた3か月でした。

今号も最後までお読みくだされば幸いです。



もみちゃんクレイアート@神奈川県立こども医療センター



真鍋麻里の塗り絵@千葉県こども病院

スマイリングホスピタルジャパン
スタッフ一同



びいすけの手がたアート@日赤医療センター

●2016年3月～2016年5月の活動報告

	活動実施日	活動場所	活動内容	担当	参加人数
1	3/2 (水)	神奈川県立こども医療センター 5西病棟	クレイクラフト教室	藤江智美	18
2	3/2 (水)	東大病院 北南小児病棟	サックス&パーカッション	森英記 & 米元美彦	19
3	3/3 (木)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽療法	豊雅子 & 金愛利	11
4	3/4 (金)	大阪私立総合医療センターさくら6 すみれ6病棟	即興演劇を楽しもう	カクテルホイップ	14
5	3/7 (月)	日赤医療センター 小児病棟	親子でボサノバ!	Satoko	45
6	3/7 (月)	千葉県こども病院	ことばと音の読み聞かせ	トッテカルーン	33
7	3/7 (月)	大阪私立総合医療センターすみれ7病棟	折り紙ワークショップ	シェリー	17
8	3/7 (月)	大阪私立総合医療センターすみれ6病棟	コミック大道芸	あざーすのぞ	26
9	3/8 (火)	慶応病院 6E 小児病棟	歌のお兄さんお姉さんと 遊ぼう	湯浅ゆう子 & 天野翔太	20
10	3/11 (金)	神奈川県立こども医療センター4 西病棟	塗り絵ワークショップ	真鍋麻里	9
11	3/11 (金)	北海道大学病院 小児病棟	パントマイム & マジック	福井陽翔人	8
12	3/14 (月)	日赤医療センター 小児病棟	歌のお兄さんお姉さんと 遊ぼう	湯浅ゆう子 & 天野翔太	31
13	3/14 (月)	日赤医療センター 付属乳児院	歌のお兄さんお姉さんと 遊ぼう	湯浅ゆう子 & 天野翔太	30
14	3/14 (月)	京都大学病院 小児病棟	リズム遊び	すみ & かける	6
15	3/15 (火)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽療法	豊雅子 & 金愛利	16
16	3/16 (水)	神奈川県立こども医療センター5 西病棟	親子でボサノバ!	Satoko & Friends	15
17	3/16 (水)	東大病院 北南小児病棟	からくりペーパークラフト	天羽ひさ子	14
18	3/16 (水)	大阪私立総合医療センターすみれ7病棟	ジャグリング・バルーンア ート・マジック	ジャグラ-GT	18
19	3/16 (水)	大阪私立総合医療センターさくら7病棟	コミック大道芸	あざーすのぞ	23
20	3/17 (木)	慶応病院 5S 小児病棟	二胡演奏と二胡体験	近藤多英子	17
21	3/22 (火)	宮城県立こども病院	キーボード演奏会	トッティ	22
22	3/28 (月)	日赤医療センター 小児病棟	ピアノ・ボーカルリサイタル & なんでもリクエスト	眞理さん	59
23	3/28 (月)	静岡県立こども病院	音楽会	Bon Vivant	20
24	4/4 (月)	日赤医療センター 小児病棟	歌のお兄さんお姉さんと 遊ぼう	ゆうこ & しょうた	31
25	4/6 (水)	神奈川県立こども医療センター5 西病棟	ピアノ・ボーカルリサイタル & なんでもリクエスト	眞理さん	27
26	4/6 (水)	東大病院 北南小児病棟	版画ワークショップ	ツツミエミコ	11
27	4/6 (水)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽療法	豊雅子 & 金愛利	11
28	4/8 (金)	神奈川県立こども医療センター4 東病棟	手遊び 読み聞かせ	富田泰代	14
29	4/11 (月)	日赤医療センター 小児病棟	マジック・ジャグリング & バルーン	NIKONIKO 大使ガイ	33
30	4/11 (月)	日赤医療センター 付属乳児院	マジック・ジャグリング & バルーン	NIKONIKO 大使ガイ	44
31	4/12 (月)	慶應義塾大学病院小児 6E 病棟	朗読の会	川島昭恵	4
32	4/15 (金)	北海道大学病院 小児病棟	音楽会	松本ゆかり	11
33	4/15 (金)	大阪市立総合医療センターさくら8	リズムサークル	西純江	15
34	4/18 (月)	日赤医療センター 小児病棟	ちぎり絵ワークショップ	Laki Ohana	11
35	4/18 (月)	千葉県こども病院	塗り絵 & 貼り絵の会	真鍋麻里	20
36	4/19 (火)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽療法	金愛利	15



	活動実施日	活動場所	活動内容	担当	参加人数
37	4/20 (水)	神奈川県立こども医療センター 5西病棟	サックス&パーカッション	森英記&米元美彦	37
38	4/20 (水)	東京大学病院 北南小児病棟	歌のおねえさんとおにいさんがやってきた!	ゆうこ&しょうた	40
39	4/20 (水)	北海道立子ども総合医療・療育センター	音楽会	米澤倫子&松本ゆかり	30
40	4/20 (水)	大阪市立総合医療センター すみれ6病棟	音楽遊び	豊雅子	18
41	4/20 (水)	大阪市立総合医療センター さくら7病棟	ジャグリング・バルーン	ジャグラーGT	29
42	4/20 (水)	京都大学病院 小児病棟	コミック大道芸	大ドジ芸人あざーす・のず	8
43	4/21 (木)	慶應病院 6E 小児病棟	英語で歌遊び	堀越美恵子	19
44	4/22 (金)	神奈川県立こども医療センターハイケア2	クレイクラフト	藤江智美	13
45	4/25 (月)	日赤医療センター 小児病棟	手がたスタンプアート	坂本和美	18
46	4/25 (月)	静岡県立こども病院 西病棟	きみちゃん紙芝居	松島季実代	21
47	4/26 (火)	大阪市立総合医療センター すみれ7病棟	コミック大道芸	大ドジ芸人あざーす・のず	19
48	4/26 (火)	大阪市立総合医療センター さくら6病棟	リズム遊び	西純江	5
49	4/26 (火)	宮城県立こども病院	フラダンス	山中恵里子	21
50	4/30 (土)	東京女子医大病院筋ジス親子の会	手遊び 読み聞かせ	平沢ゆかり&富田泰代	17
51	5/2 (月)	日赤医療センター 小児病棟	ピアノ・ボーカルリサイタル&なんでもリクエスト	真理さん	33
52	5/9 (月)	日赤医療センター 小児病棟	歌のおねえさんとおにいさんがやってきた!	ゆうこ&しょうた	29
53	5/9 (月)	日赤医療センター 附属乳児院	歌のおねえさんとおにいさんがやってきた!	ゆうこ&しょうた	45
54	5/10(火)	慶應病院 6E 小児病棟	クレイクラフト	藤江智美	14
55	5/12 (木)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽療法	豊雅子&金愛利	13
56	5/13 (金)	神奈川県立こども医療センター 5南病棟	歌のおねえさんとおにいさんがやってきた!	ゆうこ&しょうた	26
57	5/14 (土)	杉並重心障がい児親子の会みかんぐみ	歌のおねえさんとおにいさんがやってきた!	ゆうこ&しょうた	62
58	5/16 (月)	日赤医療センター 小児病棟	英語であそぼう&マジック	クラウドィ	31
59	5/16 (月)	千葉県こども病院	英語で歌遊び	堀越美恵子	13
60	5/18 (水)	神奈川県立こども医療センター 5西病棟	歌のおねえさんとおにいさんがやってきた!	ゆうこ&しょうた	27
61	5/18 (水)	東大病院 北南小児病棟	似顔絵ポートレート	水野ぷりん	31
62	5/18 (水)	京都大学病院 小児病棟	音楽療法	豊雅子	11
63	5/19 (木)	慶應病院 5S 小児病棟	みんなでボサノバ!	Satoko & Friends	7
64	5/19 (木)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	ヒーリングセッション	玉井澄恵&西純江	15
65	5/20 (金)	北海道大学病院 小児病棟	パネルシアター・製作	松川敦子	9
66	5/20 (金)	大阪市立総合医療センター さくら8病棟	折り紙&読み聞かせ	刈屋園智子	15
67	5/23 (月)	静岡県立こども病院 北病棟	キットパス	海野 絵利奈	8
68	5/23 (月)	日赤医療センター 小児病棟	ミニリサイタル&なんでもリクエスト	真理さん	29
69	5/23 (月)	療育室つばさ	ことばと音の読み聞かせ	トッテカルーソ	23
70	5/24 (火)	淀川キリスト教病院こどもホスピス	音楽療法	豊雅子&金愛利	11
71	5/27 (金)	神奈川県立こども医療センター肢体不自由児施設保育ルーム	手遊び&読み聞かせ	平沢ゆかり	5
72	5/30 (月)	日赤医療センター 小児病棟	塗り絵&貼り絵	真鍋麻里	13
73	5/31 (火)	宮城県立こども病院	いろんな笛のコンサート	宍戸素子	18

* 2016年3月1日~2016年5月31日(3か月間)合計活動数 73回 合計参加者数 延べ 1521人

●トピックス

- 3月 8日 Share With Fiat ランチミーティングに出席しました。
- 3月12日 全国小児病棟遊びのボランティアネットワーク交流会に参加しました。
- 3月26日 第一回スマイリングホスピタルジャパン研修&交流会を開催しました(レポート↓)。
- 4月 1日 絵本作家くすのきしげのり様より絵本「あっ!みつけた!!」をご寄付いただきました。
- 4月27日 婦人画報社ヴァンサンカンにてSHJの活動が紹介されました。
- 4月23,24日 アースデイ2016に参加しました(レポート→)。
- 4月30日 東京女子医大病院筋ジストロフィー親子の会にて活動を開始しました。
- 5月14日 すぎなみ重症心身障害児親子の会にて活動を開始しました。
- 5月25日 日本財団「難病の子どもと家族を支えるプログラム 助成/支援団体ネットワーク会議」に出席しました。

●第一回研修&交流会のご報告

スマイリングホスピタルジャパン第一回研修&交流会
2016年3月26日 於：日赤医療センター



2016年3月26日(土)、日本赤十字医療センターのご協力により同講堂において、第一回スマイリングホスピタルジャパン研修&交流会を開催いたしました。SHJ現況報告の後の研修会では病弱教育専門家、病棟保育士、そして小児脳幹部グリオーマ(神経膠腫)患者家族からの講演、続く交流会では各地区からの活動報告、今後の予定の発表がありました。19:00からの懇親会では一気に気分もほぐれて和気藹々、初めて一堂に会した集まりで交流を深めました。

13:30 代表挨拶&現況報告等

13:40 講演会

1. 13:45~14:55

「ひとりじゃないよ~ぼくが院内学級のこどもたちに教えてもらった大切なこと~」

副島賢和氏 昭和大学大学院保険医療学研究科准教授
品川区立清水台小学校さいかち学級担任

2. 15:05~15:45

「病棟でのボランティア活動~医療と小児の発達の立場から~」

赤津美雪氏 日赤医療センター小児病棟保育士

3. 15:45~16:05

「~小さな命は輝いている~わたしたちの目に見える症状と見えない症状~」

矢田美麗氏 小児脳幹部グリオーマ(神経膠腫)患者家族
SHJ千葉地区コーディネーター

16:15 各地区活動紹介

18:05 事務連絡等

19:00~21:00 親睦会 於：日赤医療センター1階レストラン「川菜」

出席者

北海道地区 6名

東北地区 4名

関東地区 33名

静岡地区 4名

関西地区 5名

計 52名

(アーティスト/
コーディネーター/
アシスタント/事務
局/サポーター)



昭和大学大学院保健医療学研究科准教授 副島賢和氏からは、「ひとりじゃないよ~ぼくが院内学級のこどもたちに教えてもらった大切なこと~」の演題で、院内学級担任の立場からお話を頂きました。病児の心理と彼ら自身の感情の扱い方を踏まえたケアする立場としての関わり方を学びました。子どもたちにどう寄り添って関わるべきか、それによって子どもたちが心を開いていく過程をわかりやすく講義されました。会場からは活発な質問や感想が出たり、実際に赤鼻をつけて子どもたちにどう接するかの例を幾つか見せていただいたりして、真剣な中にも笑いあり、涙ありの充実の1時間でした。



日赤医療センター小児病棟保育士 赤津美雪氏からは実際の SHJ の活動に丸3年立ち会ってきた中で見てきた、子どもたちや病棟の変容をお話してくださいました。スマイリングの活動がある日とない日とでは子どもたちの様子に違いがあること、毎週定期的な活動があるために生活に見通しを持つことができていることなど、また、単調な入院生活では、親御さんでもなかなか気づかない子どもの成長ですが、音楽や創作活動中に見せるふとした変化により「発達」を実感できる、というお話もありました。私たちの活動がとても喜ばれ、子ども、ご家族、そして医療者にとっても有用であることを現場から伝えていただき、活動の価値に改めて確信を持つことができました。



小児脳幹部病グリオーマ（神経膠腫）患者家族であり、SHJ 千葉地区コーディネーターの矢田美麗氏からは、お子さんとの闘病生活を通じた経験を踏まえての講演でした。症状のためにバギーでの生活になった時の物理的バリアと社会生活における心理的困難について語られました。また、実際に現場で出会う子どもたちの様子から、関わる立場が察することのできる症状と受けている処置についての説明もありました。病棟で活動する際、鼻や喉にチューブを付けていたり頭を固定していたりという子どもたちにどういったことに注意して関わればいいのかなど不安な点が多いものですが、具体的な例を挙げながら配慮すべき点がわかりやすく述べられ、活動者の不安も軽減できたように思います。「命はどのような状態であっても輝いている。アーティストの届けている本物のアートは、その輝きにさらに磨きをかけるものだ」というまとめの言葉は、活動者が意気込みを新たにす、素晴らしいメッセージでした。

～地区報告風景～



～懇親会風景～

各地区からの報告はショートパフォーマンス、心に残るエピソードや子どもたちからのメッセージプレゼントの紹介などそれぞれ趣向を凝らしたものでした。場所を変えての懇親会では、研修会での緊張感が一気にほぐれて和気藹々、さすがプロのアーティスト集団！自然にライブがあちこちで始まり、最後は全員参加型のリズムサークルでおひらきとなりました。



～これから～とても勉強になった、是非来年も！という参加者の声に手応えを感じた初めての研修&交流会でした。活動のさらなる充実と発展のために学びと意見交換の会を毎年行って参ります。

●アースデイ 2016

～4回目となったスポンサーFCA ジャパンとの協働参加

イベント“アースデイ 2016”の様様を紹介します～

4月22日は世界中が同時に地球のことを考える日アースデイ。今年も4月23,24日に代々木公園でイベント開催されました。2013年よりFIAT(FCA ジャパン)協賛によりブース出展していますが、リピーターや病棟と一緒に音楽を楽しんだ親子の参加もあり、また新しい素敵な出会いの機会ともなりました。特に天気が心配だった2日目はブースを開けたとたんに雨も上がり大盛況。ワークショップ、大道芸、FIAT 塗り絵コーナー・・・なんでもありのすべて同時進行。FIAT500の前にたくさんの方が足を止め、ぱりぱりくんペーパークラフト&もみちゃんクレイワークショップ、そしてたつきゅうさんの大道芸と、テント前は大いに盛り上がりました！参加した子どもたちの中には「子どもでも重い病気に罹ってしまうんだね」「治療のために外に出られない子がいるんだ・・・」と思いめぐらせ、何かを決意したような表情でクラフトに取り組む子もいました。SHJの趣旨に賛同し継続して支援していただき、またSHJを広く知ってもらおう場として毎年アースデイへの参加機会を提供して下さるFCA ジャパンには改めて感謝いたします。

～行列のできるワークショップ！～

参加希望のお子様連れのご家族が後を絶たず、塗り絵コーナーで塗り絵をしながら順番を待つ子ども、お父様お母様が待つ間に他ブースを回れるようお子様をお預かりしてペーパークラフトで盛り上がり、そして順番が来たらクレイワークへ・・・材料がなくなってしまってもめてゴメンなさい！を言わなくてはならなかった方は数え切れず・・・場所も足りなくなってFIAT 車関連コーナーまでもお借りしながらの大盛況でした。



～大道芸～

京都から、アースデイ東京のためにSHJアーティスト兼京都コーディネーターの田久さんが上京。「たつきゅうさんの大道芸」も老若男女問わず、通路までも埋め尽くすほどたくさんの方が集まって楽しんでいました。自慢のジャグリングの技術の高さには定評が！すごいすごい！という歓声とたつきゅうさんのコミカルなトークあたりは大変な盛り上がり。



そして最近成功させた新しい技、コーンを7つ重ねて顎の上に載せる芸を披露、このコーンは京都から新幹線で運んだとか。人を楽しませるためには労を惜しまないたつきゅうさんです。すぐ横にはFIAT500が展示してあり、この技が失敗したら車は傷だらけ・・・そんな余計な心配は要らないとばかりにプロの大技を大胆に見せてくれました。FIATさんからの信頼にも感謝です。もちろん病棟では若干の規模縮小。

活動について熱心に話を聞いてくださる方も多く、アースデイ参加者の意識の高さを実感し、頑張っている子どもたちやご家族のこと、小児病棟の日常を豊かにすることの必要性を伝える機会に感謝した2日間でした。活動に協賛して下さっているFIAT(FCA ジャパン)さんに感謝、そして募金して下さった皆さん、ありがとうございました！



● 「NPO 法人ぷくぷくばるーん」をご紹介します！

特定非営利活動法人ぷくぷくばるーんは、「ばるーんで遊ぼう！」や様々なイベントを通して、愛知県で入院する子どもたちとご家族に「笑顔」と「楽しい刺激」を届けています。同じミッションをかがげ、情報交換しながら、ともに子どもたちの闘病生活を応援しています。

発起人であり理事である大竹由美子さんより、設立のきっかけや活動への思いなど、綴っていただきました。



<http://pupu-b.jp>

「今日はぷくぷくさんの日！」

特定非営利活動法人ぷくぷくばるーん
発起人・理事 大竹由美子

今日も朝から、名古屋市中心部から少し離れた場所にある、愛知県のこども病院へ。ぷくぷくボランティア総勢10名、二手に分かれて二つの病棟を訪問しました。病棟へ入ると、どの病院でも同じようにまずは手洗いやマスクと手洗いをしっかり準備ができたなら、早速今月のテーマのバルーンをボランティアと子ども達や付き添いの方たちと一緒に作ります。5月はこいのぼり。といっても、立派なバルーンアートではなく、誰もが楽しめるように簡単に、でもとっても可愛い作品です。

「どの色にする？」「一緒にここ捻ってみよう！」「おめめ書いてみて！」「ほらできたね！」ボランティアは子ども達に寄り添い、子ども達に声をかけながら進めます。変な形になっても大丈夫。そこにあるたくさんの笑顔と笑い声で、どんな作品も笑顔の想いでがいっぱい詰まった作品になります。私たちが帰ったあと子ども達は笑顔で自分のベッドへ戻り、そして子ども達のベッドに飾られたバルーンを見てお医者さんや看護師さんとも話が弾み、病棟に笑顔が広がるでしょう。そんな笑顔が生まれるきっかけや笑顔の連鎖を、私たちは大切にしています。

ぷくぷくの活動は、私が息子を白血病で9年前に亡くしたことをきっかけに始まりました。12歳の人生の約三分の一を病院で過ごした息子の人生ですが、病院と縁が切れてしまったあと病院の中の生活を振り返った時に一番に感じたことは、「息子はここで成長してきたのだ」ということ。しょうがないことですが、入院中は病気を治すことで一生懸命、身体だけでなく日々成長を続ける心の成長まで、気が回りませんでした。

しかし、病院の中だって普通の子どものように、心は成長しています。そんな病院の子ども達に必要なのは、やはり、普通の子どものように普通を受ける、子どもらしい刺激です。

ワクワク！ドキドキ！楽しい！

こんな、心から湧き出る子どもらしい感情が出せる時間を、病院の中に持っていかなければ。子どもが子どもらしくあるためのきっかけを、私たちボランティアが作ってあげたい、そう思いました。

今日の活動が終わり、担当保育士さんが言ってくださったこと。

「点滴がたくさんついていたあの女の子、昨日までずっと個室から出られず、誰とも遊んでないし何も触れなかったのです。でも、今日のぷくぷくさんの日をすごく楽しみにしていて、最後にこいのぼりに目を書いていた姿を見て、本当に嬉しかったです。お父さんとお母さんも、すごく笑顔が出ていて、本当に良かったです」

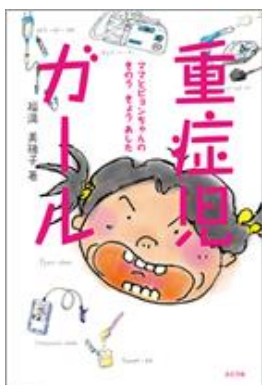
最初、何を話しかけても無表情で、バルーンを触ろうともしなかった女の子、ボランティアが丁寧に寄り添ったことで、最後はペンを取り、自分でこいのぼりに目を書きました。少しでもあの女の子の心の中に、バルーンのカラフルな色と一緒に笑顔の余韻が残ったら、こんな嬉しいことはありません。

これからも、ぷくぷくばるーんは病気の子どもの心に寄り添い、子ども達の笑顔のきっかけを作る活動をしていきたいと願っています。



● 書籍紹介

「重症児ガール ママとピョンちゃんのきのうきょうあした」
福満美穂子 著 ぶどう社 2015年11月



ピョンちゃんとは著者、福満さんのお嬢さんの愛称。「医療ケア」があり、吸引機械を持ち歩き、てんかん発作も多様なので、常に行動をとめています。まるで、アニメ「ど根性ガエル」のピョン吉とひろしみたい。そこでこの本では、娘を「ピョンちゃん」と呼んでいます。






肢体不自由児や重症児とご家族について社会がもっと目を向けるようになって欲しい。ピョンちゃんとお母様の日常を綴ったこの本は、時に涙を、そして時に笑いを誘いながら

その様子を教えてください。まず「知る」こと。そこから応援は始まります。

【帯の文章より】

吸入、吸引、胃ろう注入、てんかん発作あり。
ぴょんちゃんは、重症心身症がい児の「スタンダード」。
迷い、悩み、泣き、笑い、そして「受容」へ――

●スマイリングホスピタルジャパン概要 (2016年6月1日現在)

名称	特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン (略称: SHJ)				
設立	任意団体として2012年2月25日 法人設立2012年12月25日				
所在地	〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3丁目3番15-308 電話/Fax: 03-4296-5691 その他連絡先: 090-8894-2640				
活動目的	入院闘病中の子どもたちが、わくわくするような楽しい時間を繰り返し持つことで、闘病意欲や生きる喜びを持ち続け、回復に向けての活力を得られるよう、QOLの向上に寄与することを目的とする。				
活動内容	美術、音楽、マジック等のプロの芸術家が小児病院の病棟、病室を訪問し、クラフトワークショップ、マジック、音楽会などを催す。子どもたちが活力や自信を取り戻せるように、作る、手品を覚える、一緒に歌う、など参加型の活動にする。見通しを持って楽しみにできるように、定期的な活動とする。 活動例: 2時間の訪問時間中、前半は病室を出られる子ども対象に病棟プレイルームにて集団の活動、後半は病室、病床にて活動可能な子どもと個別活動をする。				
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問 一人ひとりを大切に。 ・参加型活動 受け身ではなく子ども自身が主体的に。 ・定期訪問 見通しを持って活動を楽しみにできるように。 ・本物のアート 質の高いクリエイティブな活動を。 				
活動場所	神奈川県立こども医療センター各病棟 神奈川県立こども医療センター肢体不自由児施設 重症心身障害児施設 日本赤十字医療センター小児病棟 京都大学医学部附属病院小児病棟 日本赤十字医療センター附属乳児院 宮城県立こども病院各病棟 石巻赤十字病院小児病棟 大阪市立総合医療センター各小児病棟 療育室つばさ 慶応義塾大学病院各小児病棟 淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院 静岡県立こども病院各病棟 北海道道立子ども総合医療・療育センター 北海道大学病院小児病棟 東京大学医学部附属病院各小児病棟 千葉県こども病院各病棟 ドナルド・マクドナルド・ハウスせんだいハウス/おおさか すいたハウス はる訪問看護ステーション 東京女子医大筋ジストロフィー親子の会 すぎなみ重症心身障害児親子の会みかんぐみ				
年間活動数	244回 (2015年実績)	参加者数	延べ5970名 (2015年実績)		
役員	代表理事 松本 恵里	理事 高橋 精一	副代表理事 谷口 幸路	理事 三原 典子	監事 神津 理絵
地区 コーディネーター	北海道: 米澤倫子 京都: 田久朋寛	仙台: 穴戸素子 大阪: 西 純江	石巻: 千葉淳子 静岡: 鈴木知子	千葉: 矢田美麗 東京・神奈川: 松本恵里	
事務局 運営ボランティア	13名	アーティスト ボランティア	81名	活動アシスタント ボランティア	8名
正会員	15名	サポート会員	137名 9団体		
E-mail	info@smilinghpj.org				
ホームページ	http://www.smilinghpj.org				
銀行口座	ゆうちょ銀行 名義: 特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 記号: 10090 番号: 74039541 みずほ銀行 名義: 特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 支店: 浜田山支店 預金種目: 普通預金 口座番号: 1950697				
活動資金	会費 個人・団体よりの寄付 企業協賛				
協賛	(株) FCA ジャパン 日本歯科医師会 日本財団 FIT チャリティ・ラン 2015 他     				

サポート会員、アーティスト・事務局・活動アシスタント・コーディネーターボランティア募集中!
詳しくはホームページをごらんください。

～後記～

SHJ 全国合同研修交流会、全国小児ボランティアネットワーク会議、そして難病の子どもと家族を支えるプログラムネットワーク会議など、内部、外部としっかりと連携をとる機会に恵まれた3か月でした。「障がいや病と闘う子どもと家族を支える」という共通の目的のために連携をとっていくことを確認し、これからも支援の輪が広がるよう、さらに他関連団体への働きかけも大切だと感じました。情報交換を重ねることにより、SHJの広報、ニーズの把握にもつながり、新たに3つの病院での導入が決まりました。打ち合わせの後、秋には開始の予定ですので、改めてニュースレターでお伝えいたします。活動を支えてくださっている皆様に重ねて感謝いたしますとともに、引き続きご支援をよろしく申し上げます。次回の発行は9月です。どうぞお楽しみに!

スマイリングホスピタルジャパンスタッフ一同